

議題（１）平成２９年度の取組について

１ 碧南市障害者差別解消支援地域協議会の設置

地域における障害者差別に関する相談等について情報を共有し、障害者差別を解消するための取組を効果的かつ円滑に行うため、関係機関による構成される組織（構成団体）

碧南市手をつなぐ育成会、碧南市身体障害者福祉協会、NPO法人ハートフルあおみ、民生委員児童委員協議会、衣浦東部保健所、刈谷公共職業安定所碧南出張所、西三河南部障害者就業・生活支援センターくるくる、刈谷病院、碧南ふれあい作業所、ガイア相談支援センター、社会福祉協議会及び愛知教育大学

２ 研修の実施

市職員全員を対象に研修を実施（全５回実施）

内容：障害者差別解消法の理解、合理的配慮について等

講師：愛知教育大学教育学部 岩満賢次 准教授

３ 講演会の実施

障害福祉サービス事業者を対象に講演会を実施

テーマ：障害者虐待防止法と障害者差別解消法について理解する

講師：NPO法人チャレンジド理事長 辻直哉氏

議題（２）平成３０年度の取組について

１ 市職員への周知

市職員全員を対象に障害者差別解消法についての周知を図る。

２ 障害福祉サービス事業所への周知

地域自立支援協議会の作業部会である権利擁護部会の取組で各障害福祉サービス事業所を相談や指導するため巡回訪問し、事業所の虐待防止に向けた取組状況を確認するとともに、障害者の権利擁護に向けた取組の推進を図る。事業所部会と連携し、事業所における虐待防止チェックリストを用いた点検の実施や職員向け研修等を開催する。

３ 市民への周知

成年後見支援センターの取組で１１月に一般市民向けに講演会を実施する。

議題（3）平成29年度の障害を理由とする差別に関する事例について

事例No.	1				
障害者の性別	男性	障害者の年齢	10歳	障害の種別	発達障害（手帳無）
事例の結果	解決した。				
事案の概要	① 障害者の見解				
	<p>歯科診療所を受診し受付の際に、歯科助手に歯がぐらぐらすると伝えたところ、「じゃあ抜かなきゃね」と言われ、歯を抜くことに対して嫌がっていたところ「小学5年生にもなって、歯を抜くのが怖い」と言われた。</p> <p>「歯を抜くね」と言われ、パニックになってしまった。当事者が自閉症であることを踏まえ、適切な言い方をして欲しかった。また、普段より、診療の際に嫌がる様子が見られると今回のように「小学5年生にもなって、歯を抜くのが怖い」というように年齢を引き合いに出す言い方をされるので、障害の特性を踏まえて、ケアして欲しい。</p> <p>家族からは次回の受診時には、対応を改善して欲しい。またどう改善していくのか電話等で回答が欲しいとのこと。</p>				
	② 碧南市の見解				
	<p>障害者差別等ではなく、声掛け等サービスの質の問題であるため、所管の健康課から指導するよう依頼した。</p>				
	③ 対話の経過				
	<p>両親と歯科診療所関係者と話し合いの場を持ち、言葉掛けの配慮が足らなかったとのこと、歯科衛生士等職員を対象に研修等を実施し、今後は言葉の掛け方等配慮していく旨を説明したところ、両親とも納得し終了したとのこと。</p>				
④ 解決した／解決しなかった内容					
<p>解決した。（その後も診療所を利用し続けている。）</p>					